

東京都

## 板橋区と交流しています

「大山」を「だいせん」と読ませるプロジェクトがきっかけで、東京都板橋区大山町（おおやまちょう）の「ハッピーロード大山商店街」と交流をしています。これまではイベント出店を主に、特産品販売を数回行ってきました。4月からは商店街のアンテナショップである「全国ふる里ふれあいショップとれたて村」に出品し、年間を通して大山恵みの里公社が扱う本町の生鮮品や加工品が販売されるようになりました。



▲坂本健 板橋区長（左）と固く握手

「とれたて村」に出品している自治体は板橋区と関係が深く、今年5月には今後について板橋区長と意見交換を行いました。

また、8月には商店街主催の夏まつりイベントに参加し、さざえのつぼ焼きや、大山恵みの里公社で製造しているメンチカツなどを販売しました。イベントにはむきぼんも参加し、鳥取・大山町のPRに一役買いました。首都圏での「だいせん」の知名度向上のため、板橋区との交流を深めていきます。

## 寄付を

### いただきました

サングレス株式会社  
10月5日（金）、長田にあるサングレス株式会社（後田善通取締役社長）から、20万円の寄付が贈られました。同社からは「子どもたちの読書環境整備に役立ててほしい」と毎年寄付をいただいております。今年で22回目となりました。

贈呈式で山根教育長は「子どもたちには、いい本との出会いを大事にしてほしい。寄付金は、大切に活用させていただきます」とお礼を述べました。



▶森田町長に寄付金を手渡す  
後田社長（中央右）

ご長寿  
おめでとう  
ございます

## 敬老会



▲民生児童委員さんによる「枕太鼓」

大山町敬老会が、9月29日（土）の大山地区を皮切りに10月4日御来屋・光徳地区、5日庄内・名和地区、11日中山地区と、今年も和やかに行われました。

各会場には、町長をはじめ、町議会議員、関係団体の代表が出席して健康と長寿を祝いました。

森田増範町長は「今の豊かさは、戦中・戦後の激動の時代を生き抜いてこられた皆さんの努力の賜物です。家族を

### 敬老会関連データ

敬老会該当者は、平成24年9月1日現在で、昭和13年4月1日以前にお生まれになった方です。

#### 【該当者数】

大山地区	1,237人
名和地区	1,431人
中山地区	960人

守り、地域を支え続けてこられたことに感謝と敬意を表します」とあいさつしました。

式典のあとは、町内各団体や民生児童委員の皆さんによる演芸が披露され、長寿の宴に花が添えられました。



▶「こ壮健でいてくださいね」  
（中山地区）